

Saflanet

第5号



特集!

平成24年7月12日の

九州北部豪雨災害における住み替え相談窓口について

7月12日の九州北部豪雨で、龍田陣内地域を中心に大きな被害が発生。熊本市では、被災者の方を支援するためにさまざまな制度を設けました。そのひとつが、全壊及び一部の半壊の被災者の方を対象に、市が民間賃貸住宅を借り上げ、無償で提供する制度です。熊本市居住支援協議会(以下「協議会」)では、市からの要請を受け、7月17日から28日までの12日間、北区役所龍田出張所で住み替え相談窓口を設置。およそ80件の相談に対応し、うち60件程の

入居につなげることができました。窓口で実際に相談に対応した全国賃貸住宅経営者協会連合会熊本県支部(以下「全住協」)の唐田雄一郎さんと波野由紀子さんに話を聞きました。



—相談窓口で、実際に被災者の方と向き合って対応された率直な感想を聞かせていただけますか？

唐田 相談に来られた方は、ご自宅を失くされて…時的に親戚のところに行かれています方や避難所で生活を余儀なくされている方ばかりでした。みなさん、突然の災難にこれからの住まいをどうしようかと不安と不満を抱かれています、疲労困憊されている状態だったように思います。私は昨年の東北大震災が起こったときに、現場に赴き、被災者の方の相談に対応させていただきました。そのときは、こういった災害に対応することに慣れていませんでしたから、私たちと現地の行政との連携がうまくいかず、被災者の方を長く待たせてしまうことが多々ありました。しかし、今回は熊本市の対応が早かったこともあり、業者への連携も早く、想像していたよりもスムーズに住宅の提供ができたよ

うに思います。

波野 被災者の思いに1日でも早く応えようと、私たちも懸命に対応しましたが、お部屋の希望をお聞きし、そのお部屋を探して、実際に入居できるまでにはどうしても1週間ほどかかってしまいます。被災者の方をなんとか1日でも早く入居させたいという思いが、何より大きかったですね。

—お二人は協議会に参加している民間の団体の立場で、行政と同じ窓口で対応されたと思いますが、いかがでしたか？

唐田 今回は全住協の立場で活動できましたから、一不動産業者として対応するよりも動きやすかったですね。協議会として一緒に活動してきた実績があったからこそ、市との連携もスムーズにいったのだと思います。

波野 民間賃貸住宅の借り上げ制度を説明するために、市の担当者と同行して各不動産業者に回りましたが、みなさま、嫌な顔ひとつされず、とても協力的でした。「こんな時だから、役に立てれば」とありがたい言葉もいただき、助け合いの尊さを感じましたね。

—最後に、この窓口での対応を通して、課題を感じられた部分をお聞かせください。

唐田 窓口業務が動き出した時点で、行政との役割分担が明確でなかったことですね。また、被災者の方には借り上げの制度や協議会のことをご存じない方もいらっしゃいましたから、広報活動にも力を入れるべきだと思いました。

波野 いざという時に備えて、協議会で被災時対応のネットワークを作っておけば、役割分担もより明確になるのではないかと思います。



左から波野さん、平塚さん(協議会)、唐田さん

熊本市居住支援協議会構成員

公益財団法人日本賃貸住宅管理協会熊本県支部
一般社団法人熊本県宅地建物取引業協会
全国賃貸住宅経営者協会連合会熊本県支部
(社)全日本不動産協会熊本県支部
熊本県介護支援専門員協会熊本市支部
熊本県特定施設入居者生活介護事業者連絡協議会

熊本市障害者自立支援協議会
熊本市地域包括支援センター連絡協議会
熊本市母子福祉センター
熊本市民生委員・児童委員協議会
熊本市老人福祉施設協議会
(財)熊本市国際交流振興事業団

社会福祉法人熊本市社会福祉協議会
社会福祉法人同胞友愛会 友愛育成園
特定非営利活動法人くまもと支援の会
特定非営利活動法人自立応援団
熊本市

あんしん住み替え相談員になろう！

Saflanet の相談員と窓口を募集しています

熊本市居住支援協議会で
は、市民のみなさんの住まい
に関する相談に対応していた
だくあんしん住み替え相談員
と窓口を募集しています。



相談員育成講座の案内

福祉関係者の方、不動産関係の方など、地域貢献を目指されている多くの方が受講されています。あなたも地域のあんしん住み替え相談員になってみませんか？詳しくは、講座のご案内をご覧ください。（各区役所の窓口等に設置してあります）

ホームページリニューアルしました！

<http://saflanet.com/>



英語や韓国語にも対応(一部)

自分の希望する物件の条件を入力すると、該当する物件のページが開きます

最新登録物件もひと目でわかります



お問い合わせ

このステッカーが目印！



熊本市居住支援協議会事務局

Tel 096(245)5667 Fax 096(288)1753

(担当/高村、岩内、酒江)

第4回 Saflenet 相談員育成講座が行われました

8月4日(土)、ウェルパルクまもとで「第4回Saflenet相談員育成講座」が行われ、約30人の参加がありました。午前は事務局から「熊本市居住支援協議会の取り組み」について、熊本市建築計画課から「居住についての公的支援」について説明。午後は福祉分野関係・不動産分野関係2グループに分かれてのグループワークに続き、「相談シミュレーション講座」が行われました。不動産分野では、住み替えに困難なケースの話があったほか、福祉分野では住み替えにおける各立場からの問題点や現状についての報告がありました。



「パネラーとして参加しました」

不動産関係の部門の方々から、高齢者の住まいや独居高齢者の受け入れ問題など、具体的な質問があり、さまざまなケースに直面されているのだなと感じました。なかには、今年4月に名前が変わったばかりの「ささえりあ」の仕事や役割をご存じない方も。地域に根ざして、高齢者の方がお住まいになりたい地域で安心して暮らしていただけるための支援をする場所であることを、もっと多くの方に知っていただけるようにしていきたいと思いました。今後もぜひ参加していきたいです。

熊本市高齢者包括支援センター
「ささえりあ植木」 福原 建三

参加者の感想！

「分かりやすかった シミュレーション講座」

昨年に続き、2回目の参加でした。今回参加させていただき、居住支援協議会自体がしっかり機能しはじめて、いろんなネットワークが生まれているんだなと感じました。私も今年6月に独立し事業主となり新たに相談員育成講座に参加させていただきました。育成講座の内容はとても興味深く、2部構成の部分は福祉分野のことを知る良いチャンスになりました。シミュレーション講座は、とても分かりやすかったですし、今後に生かしていきたい内容でした。今後は地域に貢献できるように活動していきたいと考えています。

アイアース不動産代表
宮田 茂

「気軽に相談できる 場所の必要性」

高齢者の在宅支援を主とするケアマネジャーの仕事をする上で、居住問題についての情報把握が出来ればと思い参加しました。不動産分野・福祉分野に分かれ、ケース対応での経過を聞くことができました。相談シミュレーション実習では、自身の傾聴の仕方は良かったのかと振り返る良い機会となりました。

高齢者に関わらず、障害のある方、子育て世帯、路上生活を余儀なくされる方など「どこに聞いたら良いかわからない」と不安があるまま生活を送る方々のために、「ちょっと聞いてみようか」と気軽に相談が出来る窓口が必要だと感じました。

居宅介護支援事業所ケアマネジャー
樋口 慶子

「弱い立場の人の生の声を 仕事に生かしたい」

福祉と住まいの問題を、ネットワークで解決していこうとするセーフラネットの取り組みは、今までにはないもので大変興味深いものでした。相談員に登録することは、不動産業者にとっても、高齢者やひとり親家庭など社会的に弱い立場に置かれた方々の、生の声を聞く良い機会になります。そしてその声を、住まいを提供する側の者として、不動産業務に役立てていかなければならないと感じました。

私自身も相談員として、不動産業務で培った知識を活かし、相談者ひとりひとりの立場に立ったきめ細かい対応を心掛けたいと思います。

不動産のソエル
嶋田 里美

相談何でも引き受けます！

■地域とともに、貴方の良き PARTNER



辻 開発

～つじかいほつ～

〒861-0133
熊本市北区榎木町瀬水 1646-3
Tel: (096) 272-1016
Fax: (096) 272-1061

代表者 辻 留男



介護の事なら何でも
お気軽にご相談ください

介護保険事業所番号 4370103501

ケアプランセンター
ヘルパーステーション
デイサービスセンター
特定施設入居者生活介護



すずめ

有限会社 テイクケア・エフ 代表取締役 藤井 泰彰

〒862-0961 熊本市東区高島東1丁目8-48 TEL(096)334-5322 FAX(096)334-5325

高齢者住宅 **無料** 情報誌
高齢者住宅ガイド **ひばり**

(高齢者住宅の紹介も致します)
お電話にてご相談ください。

株式会社 ゆうプランニング
TEL096-351-1881

特集!

熊本市社会福祉協議会の対応

今回の豪雨災害における対応について、熊本市社会福祉協議会会長の米森祐一さんにお聞きしました。

今回、熊本市社会福祉協議会では初めて災害ボランティアセンターを設置しました。マニュアルにもとづき、災害当日の夕方には龍田地区と植木地区に現地災害ボランティアセンターを設置し、迅速な対応を行いました。翌日の7月13日から31日までの19日間で、延べ9111人のボランティアが災害支援活動に参加。朝8時から問い合わせの電話が鳴り続けるなど、ボランティアへの関心の高さを感じました。

ご自身で復旧に当たれない方、独居高齢者の方で、希望をされる被災者のお宅から優先的に作業に当たりました。ほとんどは被災者宅の泥だしでしたが、車両やスコップなどの備品が足りなくなり、その都度対応するという状態でした。また、熱中症防止のため水分・塩分の補給に注意するなど、安全面でも細心の注意を払う必要がありました。

今回の活動を通じて、情報発信のためにホームページに加え、フェイスブックやツイッターなどの情報ネットワークを使ったボランティアさん自身の書き込みが有効であるとともに、災害に備えた地域のネットワークの必要性を痛感しました。



ボランティアセンターでの受け付けの様子。なかには関東方面からの参加もあり、ボランティアへの関心の高さが感じられました



あんしん居住支援セミナーを開催しました!



平成24年7月14日(土)、ウェルバルくまもとで、民間賃貸住宅等のオーナー、不動産管理業者の方を対象としたあんしん居住支援セミナーを開催しました。あいにくの大雨でしたが、20名程度の方にご参加いただきました。

内容は大きく2つ、熊本市居住支援協議会の取り組みと国の補助事業である「民間住宅活用型住宅セーフティネット整備推進事業」を説明しました。この事業は、既存の民間賃貸住宅の質を向上させるため、空き家を有効に活用することで、住まい探しでお困りの方に入居していただくため、また、災害時にはすばやく利用できる環境を整備するために、住宅にお困りの方の入居を条件として、一定の条件を満たした空き家のある民間住宅の耐震改修工事、バリアフ

リー改修工事、省エネルギー工事等に必要な費用の1/3(空き家の戸数×100万円が限度)を国が直接補助するものです。

セミナーを受講された方からは、「空き家の多い賃貸アパートを持っているため、運用に悩んでいた。ぜひこの制度の活用を考えてみたいと思う。」といった嬉しい声がありました。その反面、「こういった制度があることは知らなかった。もっと早く知りたかった。」といった声もあったため、より広く、迅速な周知活動や情報提供が今後の課題であると感じました。

この事業の実施方法や進め方など、詳しくは、同事業の実施支援室(<http://www.minkan-safety-net.jp>)までお尋ねください。

オーナー様のための団体

SENITOKYO

全国賃貸住宅経営者協会連合会 — 熊本県支部 —

〒860-0804

熊本市中央区辛島町4-35 ラ・シック辛島3F
明和不動産内

Tel (096) 322-5581/Fax (096) 322-8706

- 不動産の無料相談
- 不動産業を開業する方

信頼マークの全国組織



入会の申し込みは熊本県本部事務局へ
お気軽にご相談ください。

☎ 096 (383) 9040

業界の指導的な役割を担う全国組織

社団法人	全日本不動産協会	熊本県本部
社団法人	不動産保証協会	熊本県本部